



目次) CONTENTS

| 特集 |

1・2 文化芸術活動を次世代へつなぐ

3 にいがたCITY NOW

- 新潟まつり参加者・協賛者を募集

4 ●令和6年能登半島地震関連情報

- 5月議会臨時会
- マイナンバーカード市役所本館で申請受け付け

5 連載 未来への扉 輝く高校生 新潟駅万代広場

他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています

文化芸術活動を次世代へつなぐ



問文化政策課(☎025-226-2624)

2面では「文化プログラム体験」も紹介します！

文化芸術活動を実践することによって人と人がつながり、その結果として新潟のまちに対して誇りや愛着が生まれてくると思います。

人口減少社会・少子高齢化の中、文化芸術活動を子どもたちへ継承していくことが大きな課題になっています。子どもたちに文化芸術活動に興味を持ってもらうには、まずは活動を通じて「楽しい時間」を経験してもらうことが大切ではないでしょうか。一方的に歴史や技術を教えるのではなく、文化芸術活動が元々コミュニケーションのツールだったように、誰もが分け隔てなくできる「もの」や「こと」として、共感し合いながら伝えることが重要です。

文化芸術活動は、他者とのコミュニケーションの重要な役割を果たす。他者を理解することや自分の立ち位置を知るために、文化芸術活動はとても大切なものです。かつて人間が言葉を使い始める前は、踊りや音楽、絵画などを通して人と人がつながっていました。文化芸術は他者との共感を生む、生活に欠かせないツールだったので。

現代の社会では、福祉や教育、まちづくり、あるいは観光などの分野において、文化芸術活動をもとにした新たな取り組みが数多く実践・実施されています。文化芸術活動が周囲を巻き込むきっかけとなり、関わった人たちに新たな「気付き」を生んでいます。

専門家へ聞きました！

新潟大学 教育学部
美術科 教授
丹治 嘉彦 さん